

【6】教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

(1) 習熟度別コース制による実習指導

2 年次においては、習熟度別コース制による実習指導を行う。

具体的には、「Advance コース」「Standard コース」「Basic コース」の 3 コースを設け、自分の課題や状況に応じて、2 年次進級時に学生自身が 3 つのコースから選択を行う。

これにより充実・発展した内容をそれぞれのステップに応じて学習することで、保育者としての資質の全体のレベルアップを図る。

(2) 「絵本の部屋」の設置

幼児教育・保育を専門とする本学の学生においては、絵本を使った学習や実習準備が必須である。本学では、短大生が主として利用するキッズスクウェアに「絵本の部屋」を設置し、学生が多くの絵本に触れ、また絵本を使った保育をイメージしやすい環境を提供している。「絵本の部屋」の開室時間は月曜日から金曜日の8時～18時で、授業の前後にも利用できるようになっている。

絵本のほか、紙芝居や大型絵本、仕掛け絵本などを含め、和書が 2,495 冊、洋書が 336 冊の蔵書がある。学生は開室時間内に自由に出入りし絵本を選び、幼児用の椅子やテーブルのあるスペースで読み聞かせの練習などを行うことができる。借りたい絵本については、事務局に申請し許可を得るルールになっており、1 回につき 5 冊まで 2 週間借りることができる。また、実習中については、実習期間中の貸出が可能であり、有効に利用されている。

(3) 「幼稚園・保育園における人材ニーズ調査」の実施

保育の現場が求める人材について、新卒採用の際に重要視する項目等のアンケートや、本学卒業生についての満足度調査等を定期的に行い、その結果を学生指導やカリキュラム内容に反映させ、教育内容の質の向上を図る手段としている。

(4) 「ICT を活用した学び」の実施

2021 年度新入生より、学生全員が PC または iPad を保有し日々の授業で活用する新しい学びを開始し、ICT 化の進む幼児教育・保育の現場に対応できるスキルを備えた人材の育成を行っている。

授業の内容に応じて様々な ICT の活用方法があるが、1 年生前期の「情報機器の操作」で写真の編集、ファイル管理の仕方なども学び、例えば「保育内容・環境」では、学内の自然環境を iPad 等で撮影し、写真を加工して授業内で共有するなどの授業を行なっている。